

RemoteLOCK 7i 取り付け資料

■ドアに取り付け用の穴を空ける作業手順

リモートロック設置写真

外側キーパッド



内側レシーバーモジュール



準備する工具



3 OHP シートに印刷した 7i 切欠図をドアにあてて錠前を外した後の穴がどこまで見えるか確認してください。※切欠図(取付図)は構造研究計画所の HP よりダウンロードしてご利用ください。また、この作業は最初の現地調査時にも行い、事前に準備するエスカッションの大きさやドア加工の位置を決めます。エスカッションやドア加工は既存錠前のタイプによっては不要な場合もあります。

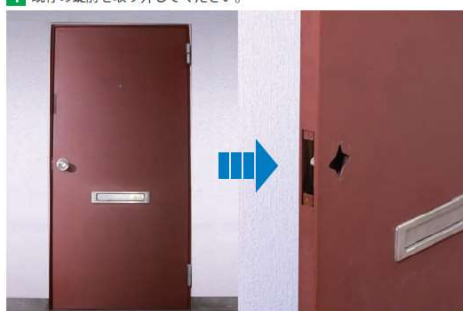


4 錠のタイプによってはエスカッションが不要な場合もあります。エスカッションは同梱されていませんのでご準備ください。

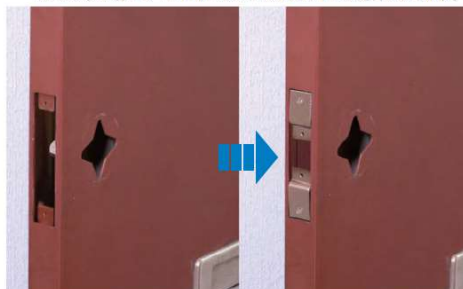


リモートロック取付工事

1 既存の錠前を取り外してください。



2 段付金具(フロント延長プレート)を加工してフロント部分に取り付けてください。錠前のタイプによっては段付金具が不要な場合もあります。



5 エスカッション取付後に切欠図をドアにあてて穴の中心の位置をポンチで印をつけます。この穴は貫通穴となります。



6 ドアに貫通穴をあけます。穴の大きさは切欠図通りです。



■ドアに取り付け用の穴を空けた後の作業手順

1. ドアにラッチボルトを付ける。

- ・扉がしまる方向にラッチの傾斜がある方に向けてあること。受側のプレートもあわせて取り付けてあること。
- ・ドア内部が空洞(ドアの材質がアルミなど)の場合、ラッチボルト取付け金具の強度を十分に確保すること。



2. テンキーのある本体の上の穴に筒状のネジをはめ込む。

- ・ネジ部分に切れ目の無い方を本体にはめ込むこと。
- ・電源ケーブル(赤と黒のケーブル)とアンテナ線は筒の中を通すこと。
- ・アンテナ線(グレー色)が本体から外れないよう注意すること。



3. テンキーのある本体の下の穴に角芯及びバネを差し込む。

- ・ツバ(バネ止め)のある方を本体側とすること。
- ・バネは口が小さい方をツバ(バネ止め)の方に向けること



4. 角芯の横に補助棒を差し込む。

- ・補助棒をAかBのどちらに差し込むのかは、ラッチボルトの設置向きにより異なる。テンキー側本体をドアに設置する時に補助棒がラッチボルトの丸い穴に入り込む方が正しい補助棒の挿入位置となる。



←この図はBの穴に補助棒を差し込んだ例である。

5. ゴム性の緩衝材を本体にはめる。(ここは特に注意点無し)



6. ドア外側からテンキーのある本体(上記5で組み立てたモノ)をはめ込む。

- ・筒状のネジはドアの上の穴を通すこと。
 - ・角芯はラッチボルトの四角の穴を通すこと。
 - ・補助棒はラッチボルトの丸い穴にはめ込むこと。
- (丸い穴の位置に合わない場合は、補助棒の差し込み位置(AとB)が間違っている。)

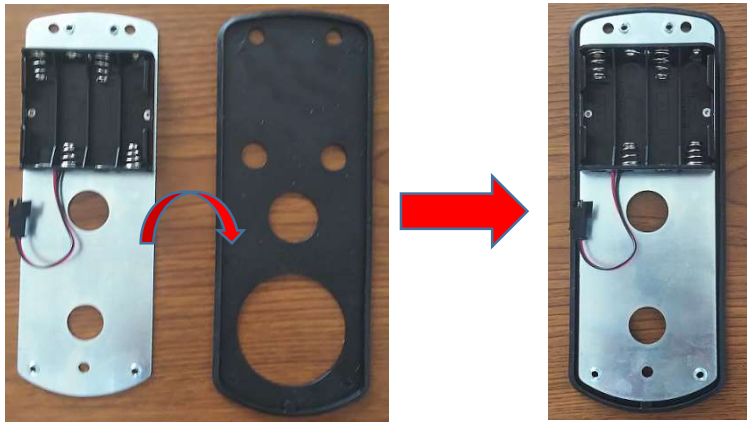


←ドア外側



←ドア内側

7. もう一つのゴム性の緩衝材に電池カバー付きパネルをはめる。



8. ドアの内側に上記7で作成したモノをはめ込む。

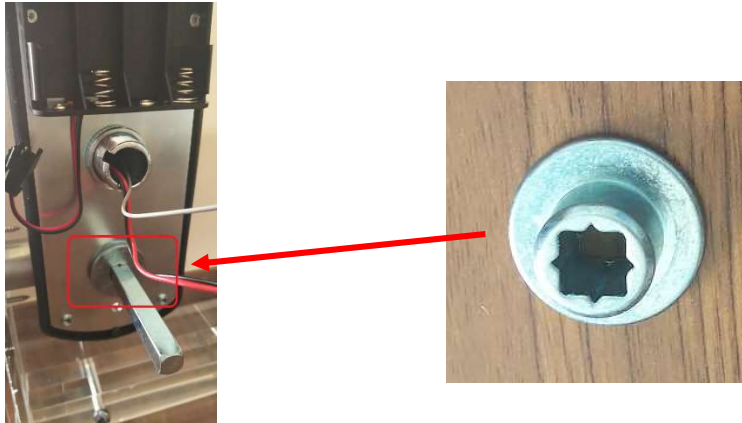
- ・電池カバーの下の穴に筒状のネジが通ること。
- ・電池カバーの下の2段目の穴に角芯が通ること。



9. ドア内側の筒状のネジにネジ止めをはめて仮固定する。



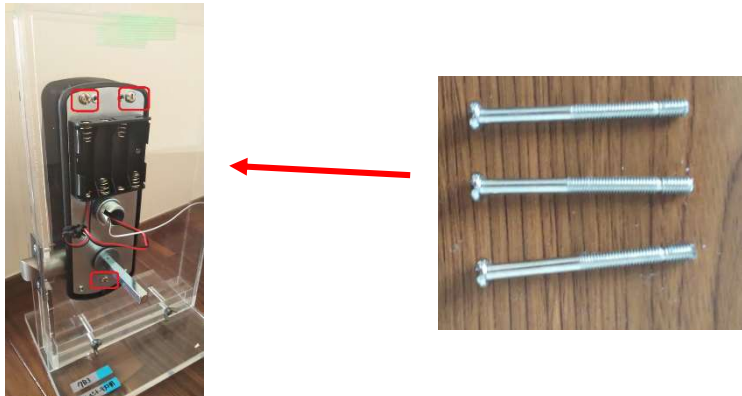
10. 角芯の固定部品をドア内側の角芯にはめ込む。
- ・出っ張りのある方を奥にしてはめ込む。
ここでスムーズに入らなければドアの穴の位置がずれている。強引に差し込まなければならぬ状況の場合、角芯がスムーズに回らなくなり、動作不良を起こす原因になり得る。）



11. 電源ケーブルを接続する。



12. ドア内側から、上2カ所、下1カ所をネジ止めする。
- ・ネジの長さはドア厚に合わせて必要に応じて切断すること。
 - ・この3カ所のネジの締め具合により、正常に動作しなくなる。後ほど調整が必要になる。
(強く締めれば良いということではない。強すぎると下記 19 の確認時にNGとなる。)
 - ・上記 10 で付けた部品がスムーズに取り外したり取り付けたりできることを確認する。



13. 上記9で仮止めしたネジ止めを奥まではめ込む。



14. 鍵穴カバーをはめ込む。



15. ドア外側のドアノブを取り付ける。
・ドアノブは奥まではめ込んでからドアノブ下のネジを六角レンチで締めること。
(中途半端になっていると正常にドアノブ操作ができなくなる。)



16. ドア外側のドアノブを付けた時点で以下の動作を確認する。
- ・ドアノブを下に下げる動作を何回も繰り返し、テンキー側の本体がずれないこと。
 - ・ドアノブを下げててもラッチボルトが引っ込まないこと。
 - ・上記 10 で付けた部品がスムーズに取り外したり取り付けたりできることを確認する。
17. ドア内側の本体を取り付ける。
- ・アンテナ線は電池カバーの所から出しておくこと。
(アンテナ線が本体から外れないように注意すること)
 - ・電源ケーブルが角芯に引っかからないようにすること。



18. ドア内側のドアノブを取り付ける。
- ・ドアノブは奥まではめ込んでからドアノブ下のネジを六角レンチで締めること。
(中途半端になっていると正常にドアノブ操作ができなくなる。)



19. ドア内側のドアノブを付けた時点で以下の動作を確認する。ここで動作の不安定感や違和感がある場合、上記12に戻り、ネジの締め付け具合を調整する。
- ・ドア外側のドアノブを下に下げる動作を何回も繰り返し、本体がずれないこと。
 - ・ドア外側のドアノブを下げててもラッチボルトが引っ込まないこと。
 - ・ドア内側のドアノブを下に下げる動作を何回も繰り返し、本体がずれないこと。
 - ・ドア内側のドアノブを下に下げるとラッチボルトが引っ込むこと。

20. 電池を入れる。

21. 電池カバーから出ているアンテナ線(黒い線)と本体から出ているアンテナ線(グレー)を接続してから、電池カバーを本体に取り付ける。
・アンテナ線は切らないように注意すること。

